「美術館は休館中。まちなかで活動中。」姫路市立美術館アウトリーチプログラム（12月から3月）のお知らせ

更新日：2026年11月10日　ID:34348

資料提供日

令和8年11月10日（火曜日）

問い合わせ先

担当課　姫路市立美術館　学芸課
担当者　米田、谷口
画像貸出担当　武田、福岡
電話番号　079-222-2288

全イベントのお問い合わせは姫路市立美術館となります。
各会場ではございませんのでご注意ください。

開催期間

2026年12月から2027年3月

詳しくは各プログラム内容をご確認ください。

趣旨・目的

本事業では、姫路城下を舞台に「まちあるき」「ワークショップ」「講座」「トークイベント」「展覧会」「特別企画」の6ジャンル、10プログラムを2026年12月から2027年3月にかけて開催します。休館中の美術館が館外へ活動の場を広げ、姫路城下の各所を舞台に、市民や来街者がアートや文化に親しむ機会を創出します。

各プログラム（開催場所・日時等）

それぞれの申込期限（必着）までに、姫路市オンライン手続ポータルサイト 別ウィンドウで開く の応募フォーム、もしくは、はがきからお申し込みください。

「申請できる手続き一覧」の「個人向け手続き」へ進み「文化・芸術」カテゴリより各イベント申し込みにお進みください。
申込方法は下部（各プログラムの申込方法）参照。

各プログラム（開催場所・日時等）

区分	イベント名	日時	会場	講師	応募締切	参加費	定員
(1)まちあるき	描かれた場所を訪れてみよう（第2弾）	令和9年2月11日（木曜日・祝日）	野里方面（予定）	高瀬晴之（当館学芸員）	1月28日	無料	15名

(2)ワークショップ	美術館でぬい活！	令和8年12月19日（土曜日）	美術館コレクションギャラリー	当館学芸員	12月8日	無料	10名
(3)講座	美術館、まちへ出る －学芸員コレクションへの愛を語る 第4回：肖像の魅力	令和8年12月26日（土曜日）	MONZEN QWELLビル2階	二宮洋輔（当館学芸員）	12月12日	無料	25名
(3)講座	美術館、まちへ出る －学芸員コレクションへの愛を語る 第5回：日本美術にみる女性たち	令和9年1月9日（土曜日）	MONZEN QWELLビル2階	武田季子（当館学芸員）	12月19日	無料	25名
(3)講座	美術館、まちへ出る －学芸員コレクションへの愛を語る 第6回：作品でたどる彫刻の世界	令和9年2月6日（土曜日）	MONZEN QWELLビル2階	福岡優里（当館学芸員）	1月23日	無料	25名
(3)講座	美術館、まちへ出る －学芸員コレクションへの愛を語る 第7回：モネをめぐる物語　美術館海の外に出てみる	令和9年3月6日（土曜日）	MONZEN QWELLビル2階	谷口依子（当館学芸員）	2月20日	無料	25名
(4)講座	美術館、夜のまちへ出る	令和9年1月13日（水曜日）	七福座	米田晴子（当館学芸員）	－	無料	20名程度
(5)講座	講演会　マティスとデュフィ　色彩が奏でる、ふたつの世界	令和9年3月20日（土曜日）	日本城郭研究センター2階大会議室	大久保恭子氏（美術史家・京都橘大学客員研究員）	3月6日	無料	80名
(6)トークイベント	第1回髙田賢三メモリアルデー	令和9年2月28日（日曜日）	姫路キャスパホールから賢三氏ゆかりの地へ	くわしくは姫路市立美術館ホームページをご確認ください	2月14日	有料	40名
(7)トークイベント	ミュージアムとまちづくりについてのトークセッション	令和9年3月下旬	－	くわしくは姫路市立美術館ホームページをご確認ください	事前申込不要	無料	－
(8)展示	第80回記念姫路市美術展	令和9年2月24日（水曜日）から3月10日（水曜日）	姫路市市民会館展示室、第6会議室	くわしくは姫路市立美術館ホームページをご確認ください	－	観覧無料	－
(9)展示	モネを問う－《印象、日の出から》から《ル・プティ＝ジュヌヴィリエにて、日の入り》まで	令和9年1月12日（火曜日）から1月24日（日曜日）	美術館コレクションギャラリー	－	－	無料	－
(10)特別イベント	お焚き上げ@書寫山圓教寺	令和9年1月3日（日曜日）	書寫山圓教寺摩尼殿	くわしくは姫路市立美術館ホームページをご確認ください	現地自由集合	無料	無料

各プログラムの内容

(1) まち歩き「描かれた場所を訪れてみよう」（第2弾）

姫路市立美術館所蔵の作品の中から現在その場所がどうなっているか絵と比べてみるツアー第2弾。美術館に集合してから、各所を訪れながら作品の魅力や描かれた場所について解説します。今回は町家が多く残る野里方面を予定。

(2) ワークショップ「美術館でぬい活！（学芸員があなたのぬいぐるみを全力展示！）」

お気に入りのぬいぐるみを美術館に持参していただき、コレクションギャラリーで学芸員が全力展示します。展示されたぬいぐるみといっしょに写真も撮れます。応募の際、解説パネルに載せたい、お持ちいただくぬいぐるみの「お名前」「生年月日」「性格」「好きな食べ物」「寸法」と「画像」をお送りください。

(3) 講座「美術館、まちへ出る－学芸員コレクションへの愛を語る」

姫路市立美術館は1987年4月1日に「市民の美術文化の高揚を図る」ことを設置目的として開館しました。以降、郷土ゆかりの美術をはじめ、国内外の近現代美術の名品たちを収集してきました。そんな所蔵作品の魅力をそれぞれの専門学芸員たちが紹介します。

(4) 講座「美術館、夜のまちへ出る」

お勤めの方や商店街の方などを想定して、夜の講座を予定。ふだん聞けない美術館学芸員のお話をのんびり聞く会です。飲食の持ち込み可。

(5) 講演会「マティスとデュフィ　色彩が奏でる、ふたつの世界」

軽やかな線と明るい色彩で、音楽や海辺、日常のよろこびを描いたフランスの画家、ラウル・デュフィ。2027年は彼の生誕150年にあたります。同時代に活躍した色彩の魔術師アンリ・マティスとの比較をとおして、2人の画家の魅力に迫ります。

(6) トークイベント「第1回髙田賢三メモリアルデー」

2月27日は、姫路出身の世界的デザイナー、髙田賢三氏が存命であれば米寿を迎える年であることから、今回創設いたしました。記念すべき第1回目は秘蔵のドキュメンタリー映像を見ながらの有識者による講座や、姫路市内ゆかりの地巡り、賢三氏のお墓参りや賢三デザインの緞帳見学などのツアーを予定しております。賢三ファンの皆さん、この機会にぜひご参加ください。

(7)トークイベント「ミュージアムとまちづくりについてのトークセッション」

美術館・博物館は地域と連携することで、どのようなまちづくりができるでしょうか。博物館法の改正について有識者にご講演いただき、美術館・博物館そして地元の人たちと共に、文化施設ができること、街でのミュージアムの役割について文化観光の視点から語り合い、各館の取り組みや地域の声を交えながら、「オールひめじ」のまちづくりに向けて考えます。

(8)展覧会「第80回記念姫路市美術展」

戦後間もない昭和21年から始まった姫路市美術展は、今回で80回目を迎えます。今回は会場を姫路市市民会館に移し、絵画（日本画）、絵画（油彩画等）、彫塑・立体、工芸、写真、書、デザインの各部門の応募作品から選ばれた入賞・入選作品を公開します。

(9)展覧会「モネ没後100年調査研究プロジェクト成果発表　モネを問うー《印象、日の出》から《ル・プティ＝ジュヌヴィリエにて、日の入り》まで」

モネ没後100年を記念し、フランスのマルモッタン・モネ美術館の協力を得ながら著名な修復家クリスチャン・シャテリエ氏がモネの絵画制作の各段階を実験的に再現した成果を紹介します。2018年に当館と吉備国際大学文化財研究センターが共同で実施した科学分析をもとに、原作品にちかいカンヴァスと顔料を用いて、当時のモネの制作の秘密に迫ります。

(10) 特別イベント「明後日朝顔プロジェクト　お焚き上げ@書寫山圓教寺」

「明後日朝顔プロジェクト」の姫路オリジナル版である「お焚き上げ@書寫山圓教寺」を圓教寺摩尼殿で開催いたします。「明後日朝顔プロジェクト」とはアーティストの日比野克彦氏が2003年、新潟県十日町市莇平（あざみひら）で始めたプロジェクト。朝顔を育てることで、地域のコミュニティを育み、収穫された種を通して人や参加地域をつなぎます。お焚き上げで今年育った朝顔のつるのご祈祷を行います。

各プログラムの申込方法

姫路市立美術館ホームページのイベント欄より姫路市申込フォームからお申し込みください。

はがきの場合、申込は原則として1人につき1枚の通常はがきで郵送してください。

ただし、親子・家族・介助者同伴など、同一グループで参加者を希望する場合は、代表者がはがき1枚に同伴者全員の情報を記入して申し込むことができます（締切日必着）。

- 表面：〒670-0012　姫路市本町68番地25　姫路市立美術館「アウトリーチプログラム（12月から3月）係」
- 裏面：参加希望のイベント名と日付/氏名/住所/年齢/当日連絡の取れる電話番号

FAXの場合、上記裏面の内容を記入して、FAX：079－222-2290にお送りください。

申し込み結果はイベントの1週間前までにメールもしくは郵送でお知らせいたします。

添付資料

第2弾アウトリーチプログラム (pdf、2.12MB)

2026 年 11 月 10 日（火）

美術館は休館中。まちなかで活動中。

姫路市立美術館　第 2 弾アウトリーチプログラム（12 月～3 月）のお知らせ



本事業は、姫路城下を舞台に、2026 年 12 月から 2027 年 3 月にかけて開催します。休館中の美術館が館外へ活動の場を広げ、姫路城下の各所を舞台に、市民や来街者がアートや文化に親しむ機会を創出します。

PRESS RELEASE

姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art

報道関係者各位

平素は、姫路市立美術館の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当館は、空調設備等の改修工事に伴い、2026 年 4 月 1 日（水）から 2027 年 12 月末日まで休館しております。この休館期間を、美術館の活動を館外へ届ける「アウトリーチ」の好機と捉え、姫路市内外の皆様がそれぞれの関心やライフステージに応じて美術と出会い、親しむことができるよう、参加型ワークショップ、幅広い世代の方々にご参加いただける無料公開講座など全 10 プログラムを、2026 年 12 月から 2027 年 3 月にかけて、姫路城下の各所で実施いたします。

「休館中であっても、美術館が地域に開かれた存在であり続けたい」という思いから、イベントの開催にあわせて、会場情報や姫路城・美術館周辺の見どころを紹介するアートマップも制作いたしました。
つきましては、本取り組みをぜひご高覧いただき、貴媒体にてご紹介賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

姫路市立美術館 館長 大西克典

お問い合わせ
姫路市立美術館　担当：米田、武田、福岡
Tel：079－222-2288/ Fax：079－222－2290
E-mail : gakugei@city.himeji.lg.jp （代表アドレス）

アウトリーチプログラム（12 月～3 月）について

1. 姫路ならではの文化資源、美術館の魅力に触れるプログラム満載

姫路城下の文化施設・商店街・民間施設と連携し、まち歩き、ワークショップ、講座、トークイベント、展覧会、特別企画を開催します。

第１弾でも好評であったまち歩きや講座の内容をより充実させて引き続き開催いたします。そして姫路出身の世界的デザイナー・故 髙田賢三氏の誕生日を記念し、新たに「髙田賢三メモリアルデー」を創設。氏のクリエイティビティの源泉となったゆかりの地をめぐる特別ツアーや、功績を振り返る講演会を開催します。

また、若年層を中心に広がる文化「ぬい活」、そして近年各地の美術館で話題の「ぬいぐるみお泊り会」を進化させ、参加者の大事なぬいぐるみを、当館の学芸員が展示し、撮影もお楽しみいただけるイベントを予定しており、全国的にも珍しい試みと言えます。

美術ファン注目の講座として、特別講演会「マティスとデュフィ 色彩が奏でる、ふたつの世界」を開催いたします。独自の色彩表現で世界を魅了した二人の巨匠、アンリ・マティスとラウル・デュフィをフィーチャー。２人の画家の魅力に迫ります。

そして周辺の美術館・博物館、地域の皆さまと共に、ミュージアムがこれからの街で果たすべき役割や文化施設ができる地域貢献について語り合うトークセッションを行います。

姫路という特別な土地だからこそ実現した、ここでしか味わえないプログラムにご期待ください。

２．姫路市美術展やモネ没後 100 年記念調査研究プロジェクト成果展示などを開催します。

当館は現在、改修工事に伴い休館中ではございますが、地域の文化の歴史を途絶えさせてはならないという強い想いのもと、市民の皆さまと歩んできた伝統ある「第 80 回姫路市美術展」を今年度も開催する運びとなりました。会場となるのは、2027 年 3 月にその歴史に幕を閉じる「姫路市市民会館」です。第 80 回という記念すべき美術展が長年地域に愛された同館の最後を飾る特別な展覧会となります。

また、当館が総力を挙げて取り組んでいる「姫路市立美術館モネ没後 100 年調査研究プロジェクト」についても、大きな進展がございました。本年 11 月上旬、印象派の殿堂であるフランスのマルモッタン・モネ美術館から紹介された、世界的な美術史家と作品修復家の 2 名が来館。この度、工事期間を特別に調整し、修復家クリスチャン・シャテリエ氏がモネの緻密な絵画制作プロセスを実験的に再現した成果を、当館コレクションギャラリーにて臨時展示いたします。

３．イベント後も楽しめる「まち歩きアートマップ」

第１弾に引き続き、イベント情報に加え、姫路城をはじめとする美術館周辺の見どころ、芸術や文化を感じられるスポットを紹介するアートマップを制作します。イベント参加時だけでなく、その後のまち歩きにも活用いただき、姫路城下でアートに出会うきっかけを広げます。

【各イベントの申込方法】

・姫路市立美術館 HP のイベント欄より申込フォームからお申し込みください。

・はがきの場合は 1 人 1 枚の通常はがきで郵送してください。（応募締切日必着）

□表面：〒670-0012　姫路市本町 68 番地 25

姫路市立美術館「アウトリーチプログラム（12 月～3 月）係」まで

■裏面：参加希望のイベント名と日付/氏名/住所/年齢/連絡の取れる電話番号

申込フォーム

・ FAX の場合は上記のはがき■裏面の内容を記入して 079−222-2290 にお送りください。

イベント情報

まち歩き

1. 描かれた場所を訪れてみよう　第 2 弾
姫路市立美術館所蔵の作品の中から現在その場所がどうなっているか絵と比べてみるツアー第 2 弾。美術館に集合してから、各所を訪れながら作品の魅力や描かれた場所について解説します。今回は町家が多く残る野里方面を予定。
日　時：2027 年 2 月 11 日（木・祝）10:00～12:00
コース：姫路市立美術館→野里
講　師：高瀬晴之（当館学芸員）
参加費：無料
定　員：15 名



内海敏夫《野里門　旧拘置所前》1982 年

ワークショップ

2．美術館でぬい活！　学芸員があなたのぬいぐるみを全力展示！
お気に入りのぬいぐるみを美術館に持参していただき、コレクションギャラリーで学芸員が全力展示します。展示されたぬいぐるみといっしょに写真も撮れます。
応募の際、解説パネルに載せたい、お持ちいただくぬいぐるみの「お名前」「生年月日」「性格」「好きな食べ物」「寸法」と「画像」をお送りください。
日　時：2026 年 12 月 19 日（土）14：00～
会　場：姫路市立美術館
参加費：無料
定　員：10 名

講座

3．美術館、まちへ出る―学芸員、コレクションへの愛を語る
姫路市立美術館は 1983 年 4 月 1 日に「市民の美術文化の高揚を図る」ことを設置目的として開館しました。以降、郷土ゆかりの美術をはじめ、国内外の近現代美術の名品たちを収集してきました。そんな所蔵作品の魅力をそれぞれの専門学芸員たちが紹介します。

会　場：MONZEN QWELL ビル 2 階
参加費：無料
定　員：各 25 名

第 4 回：2026 年 12 月 26 日（土）14:30～16:00
「肖像の魅力―西洋絵画と近代洋画」
講師：二宮洋輔（当館学芸員）

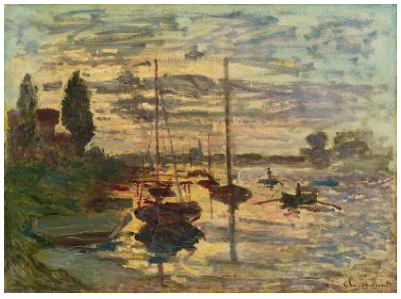
第 5 回：2027 年 1 月 9 日（土）14:30～16:00
「日本美術にみる女性たち」
講師：武田季子（当館学芸員）

第 6 回：2027 年 2 月 6 日（土）14:30～16:00
「作品でたどる彫刻の世界」
講師：福岡優里（当館学芸員）

第 7 回：2027 年 3 月 6 日（土）14:30～16:00
「モネをめぐる物語　美術館 海の外に出てみる」
講師：谷口依子（当館学芸員）



上村松園《花》1910 年



クロード・モネ《ル・プティ＝ジュヌヴィリエにて、日の入り》1874 年　姫路市立美術館（國富奎三コレクション室）

4．美術館、夜のまちへ出る

お勤めの方や商店街の方などを想定して、夜の講座を予定。ふだん聞けない美術館学芸員のお話をのんびり聞く会です。飲食の持ち込み可。

日　時：2027 年 1 月 13 日（水）18：00～19：30
会　場：七福座
講　師：当館学芸員
参加費：無料
定　員：20 名程度

5．講演会「マティスとデュフィ――色彩が奏でる、ふたつの世界」

軽やかな線と明るい色彩で、音楽や海辺、日常のよろこびを描いたフランスの画家、ラウル・デュフィ。2027 年は彼の生誕 150 年にあたります。同時代に活躍した色彩の魔術師アンリ・マティスとの比較をとおして、２人の画家の魅力に迫ります。

日　時：2027 年 3 月 20 日（土）14：00～15：30
会　場：日本城郭研究センター 大会議室
講　師：大久保恭子氏（京都橘大学客員研究員・姫路市立美術館國富奎三コレクション室学術顧問）
参加費：無料
定　員：８０名



アンリ・マティス《ニース郊外の風景》1918 年頃（國富奎三コレクション室）



ラウル・デュフィ《ミシェル・ビヌーの肖像》1934 年（國富奎三コレクション室）



【講師紹介】
大久保恭子（美術史家・京都橘大学客員研究員）
岡山市出身。大阪大学文学部美学科入学ののち大阪大学文学部美学科美術史学専攻を卒業。その後、大阪大学大学院文学研究科芸術学専攻博士課程（後期）を単位取得修了し、2000 年に博士（文学）を大阪大学大学院より取得。大阪大学で助手を勤め、関西外国語大学教授、京都橘大学教授を経て現在は京都橘大学客員研究員。2025 年より姫路市立美術館國富奎三コレクション学術顧問。

トークイベント

6．第 1 回髙田賢三メモリアルデー

2 月 27 日は、姫路出身の世界的デザイナー、故・髙田賢三氏の誕生日です。2027 年は、ご存命であれば米寿を迎える年にあたります。これを機に、美術館では誕生日の前後を「髙田賢三メモリアルデー」とし、その功績を次世代に伝える取り組みを始めます。記念すべき第 1 回は姫路市内の髙田賢三氏ゆかりの地を学芸員とともに巡るバスツアー＆秘蔵のドキュメンタリー映像を見ながら有識者による講座を開催します。賢三ファンの皆様、この機会にぜひご参加ください。

日　時：2027 年 2 月 28 日（日）13：30～
集　合：キャスパホール
参加費：有料
定　員：40 名
対　象：小学校高学年以上

名古山霊園でお墓参りのあと、賢三さんゆかりの地を見学し、アクリエひめじ（409 会議室）で講演会。
※詳細は美術館ホームページにてお知らせいたします。

【番外編】同時開催（有料）

賢三さんのバースデー・パーティ！米寿を祝おう！

70 年代、80 年代のディスコを再現した会場で賢三さんを偲びます。米寿の黄色カラーを身に着けて皆様、会場に集いませんか。
※詳細は美術館ホームページにてお知らせいたします。

7．ミュージアムとまちづくりについてのトークセッション

美術館・博物館は地域と連携することで、どのようなまちづくりができるでしょうか。博物館法の改正について有識者にご講演いただき、美術館・博物館そして地元の人たちとともに、文化施設ができること、街でのミュージアムの役割について文化観光の視点から語り合い、各館の取り組みや地域の声を交えながら、「オールひめじ」のまちづくりに向けて考えます。

日　時：3 月下旬
参加費：無料
事前申込不要
※詳細は美術館ホームページにてお知らせいたします。

展示

8．第８０回記念姫路市美術展

戦後間もない昭和 21 年から始まった姫路市美術展は、今回で 80 回目を迎えます。今回は会場を姫路市市民会館に移し、絵画（日本画）、絵画（油彩画等）、彫塑・立体、工芸、写真、書、デザインの各部門の応募作品から選ばれた入賞・入選作品を公開します。
観覧日時：2027 年 2 月 24 日（水）～3 月 10 日（水）10：00～17：00
会　場：姫路市市民会館展示室、第 6 会議室
観覧料：無料（出品は有料です）

9．モネ没後 100 年記念調査プロジェクト成果発表
モネを問う－《印象、日の出》から《ル・プティ＝ジュヌヴィリエにて、日の入り》まで

モネ没後 100 年を記念し、フランスのマルモッタン・モネ美術館の協力を得ながら著名な修復家クリスチャン・シャテリエ氏がモネの絵画制作の各段階を実験的に再現した成果を紹介します。2018 年に当館と吉備国際大学文化財研究センターが共同で実施した科学分析をもとに、原作品にちかいカンヴァスと顔料を用いて、当時のモネの制作の秘密に迫ります。
期　間：2027 年 1 月 12 日（火）～1 月 24 日（日）13：00～17：00
会　場：姫路市立美術館コレクションギャラリー
観覧料：無料


絵画制作を行うシャテリエ氏

特別イベント

１０．　明後日朝顔プロジェクト　お焚き上げ＠書寫山圓教寺

「明後日朝顔プロジェクト」とはアーティストの日比野克彦さんが 2003 年、新潟県十日町市莇平（あざみひら）で始めたプロジェクト。朝顔を育てることで、地域のコミュニティを育み、収穫された種をとおして人や参加地域をつなぎます。お焚き上げで今年育った朝顔のつるのご祈祷を行います。
日　時：2027 年 1 月 3 日（日）14：00~
会　場：書寫山圓教寺摩尼殿
参加費：無料（別途、拝観志納金は必要です）
定　員：現地自由集合
※詳細は美術館ホームページにてお知らせいたします。

姫路市立美術館　第 2 弾アウトリーチプログラム（12 月～3 月）　広報用画像申込書

広報用に写真データをご用意しております。写真はデジタルデータをメールにて送信します。

別紙図版を参照してご希望の写真番号に〇をつけ、下記にご記入の上 FAX にてお申込下さい。

図版データ・・・　　月　　日までに必要

No.	キャプション	No.	キャプション
1	姫路市立美術館夜の外観	2	内海敏夫《野里門　旧拘置所前》 1982年　姫路市立美術館蔵
3	上村松園《花》 1910年　姫路市立美術館蔵	4	クロード・モネ 《ル・プティ＝ジュヌヴィリエにて、日の入り》1874年 姫路市立美術館蔵　國富奎三コレクション室
5	アンリ・マティス《ニース郊外の風景》1918年頃 姫路市立美術館蔵　國富奎三コレクション室	6	ラウル・デュフィ《ミシェル・ビヌーの肖像》1934年 姫路市立美術館蔵　國富奎三コレクション室
7	講師：大久保恭子氏（美術史家・京都橘大学客員研究員）	8	絵画制作を行うクリスチャン・シャテリエ氏

■画像ご使用に際してのお願い

- 作品写真の使用は、本展をご紹介頂ける場合のみとさせて頂きます。なお、本展終了後は使用できませんのでご注意ください。
- 写真のご利用は 1 申請につき 1 回とし、使用後はデータを破棄してください。
- トリミングおよび文字や他のイメージを重ねることはできません。また、掲載にあたり、画像には上記の作家名、コピーライトの明記が必要です。
- 掲載内容について、会期、会場、作家名など基本情報の確認のため、お手数ですがゲラ刷りの段階で下記の当館広報事務局まで校正紙を FAX またはメールにてお送りください。
- インターネット等オンラインの媒体でご紹介いただく場合はコピーガードをかけてご使用の上、掲載 URL をお知らせください。
- ご掲載いただいた場合、掲載紙・誌、またはテープ、DVD など各 1 部を当館宛にお送りください。

貴社名：	**ご担当者名：**
媒体名：	
掲載サイト URL:	
ご住所：〒	
Tel：	**FAX：**
E-mail：	
掲載・放送予定日：	

- **お問い合わせ**

姫路市立美術館　担当：米田、武田、福岡
Tel：079－222-2288/ Fax：079－222－2290/E-mail : gakugei@city.himeji.lg.jp　（代表アドレス）

広報用画像サンプル表

1　姫路市立美術館夜の外観



2　まち歩き

描かれた場所を訪れてみよう



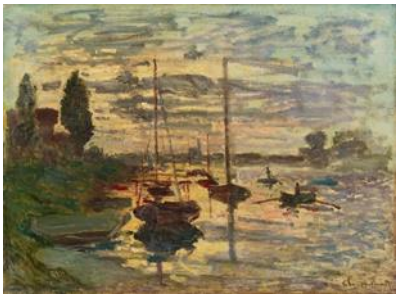
3　講座

美術館、まちへ出る
ー学芸員、コレクションへの愛を語る



4　講座

美術館、まちへ出る
ー学芸員、コレクションへの愛を語る



5　講座

マティスとデュフィ
—色彩が奏でる、ふたつの世界



6　講座

マティスとデュフィ
——色彩が奏でる、ふたつの世界



7　講座

マティスとデュフィ
——色彩が奏でる、ふたつの世界



8　展示

モネ没後１００年記念調査プロジェクト
成果発表

